2026.06.14

我々が想定すべき自然災害？
（中央林間東自治会）

中央林間 海抜と侵水域

浸水時避難方向

72.6m

77.6m

78.5m

79.1m

66.7m

東自治会

境川からの侵水域
(降雨 632mm/24H想定)



［東自治会は地勢的に水害に有利かと］

- 海抜70~80m津波の危惧は低い
- 引地川の水源(湧水)より高い
- 東自治会は境川との高低差が10m以上
  (侵水想定域とは大きく離れている)
- 液状化現象は3.11でも発生していない
- 裏山や崖がなく、土石流や崖崩れの危惧はない

大和市地域防災計画

令和５年５月　大和市防災会議

大和市地域防災計画　本編（令和５年５月）

発行　大和市防災会議

編集　大和市　市長室　危機管理課
〒２４２－８６０１
神奈川県大和市下鶴間一丁目１番１号
電話：０４６－２６０－５７２８

全428頁

大和市の地域防災計画の基資料は、主に災害対策基本法に基づき、国や神奈川県の防災計画、県が定めた地震防災緊急事業五箇年計画、および東京湾北部地震等の震災被害想定などに基づき作成されています。

大和市地域防災計画
第１編　総則

地震別 ＼ 項目別	都心南部直下地震	三浦半島断層群の地震	神奈川県西部地震	東海地震	南海トラフ巨大地震	大正型関東地震
本市において想定される震度	6弱	5強～6弱	5弱	5弱～5強	5弱～5強	6強～7
規模（ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ）	7.3	7.0	6.7	8.0	9.0	8.2
発生確率	南関東地域のＭ７クラスの地震が30年間で70%	30年以内6～11%	過去400年の間に同クラスの地震が5回発生	南海トラフの地震は30年以内70～80%	南海トラフの地震は30年以内70～80%	30年以内ほぼ0～6%

都心南部直下地震
南関東地域 M7 震度6弱 30年間70%

【被害想定結果：大和市域】

本市における地震被害は、神奈川県が平成25年に実施した被害想定調査結果を基に想定している。なお、今後、県が新たに被害想定調査を実施する場合には、その調査結果をもとに見直しを行なっていく。

項目 ＼ 想定地震		都心南部直下地震	三浦半島断層群の地震	神奈川県西部地震	東海地震	南海トラフ巨大地震	大正型関東地震
マグニチュード		7.3	7.0	6.7	8.0	9.0	8.2
建物被害	全壊棟数	920	190	0	*	*	9,060
	半壊棟数	5,280	1800	0	10	30	12,270
火災被害	出火件数	*	*	0	0	0	30
	焼失棟数	390	0	0	0	0	3,060
死傷者数	死者数	50	10	0	0	*	420
	重症者数	60	20	*	*	*	270
	中等症者数	530	210	*	10	20	2,000
	軽傷者数	770	300	0	10	30	2,460
避難者数	１日目～３日目	15,400	4,520	0	40	110	84,980
	４日目～１週間後	15,400	4,520	0	40	110	79,740
	１か月後	15,400	4,520	0	40	110	68,910

首都圏で想定したM7級の地震（19種類）とM8級の相模トラフ地震

※カッコ内は30年以内の発生確率。
■は70%

深谷断層帯 M7.6（0～0.1%）

綾瀬川断層 M7.2
（西部0%、東部不明）

立川断層帯 M7.1
（0.5～2%）

立川市直下 M7.3

川崎市直下 M7.3

横浜市直下 M6.8

伊勢原断層帯 M6.8
（0～0.003%）

茨城・埼玉県境 M7.3

茨城県南部 M7.3

都心西部直下 M7.3

都心東部直下 M7.3

成田空港直下 M7.3

千葉市直下 M7.3

市原市直下 M7.3

東京湾

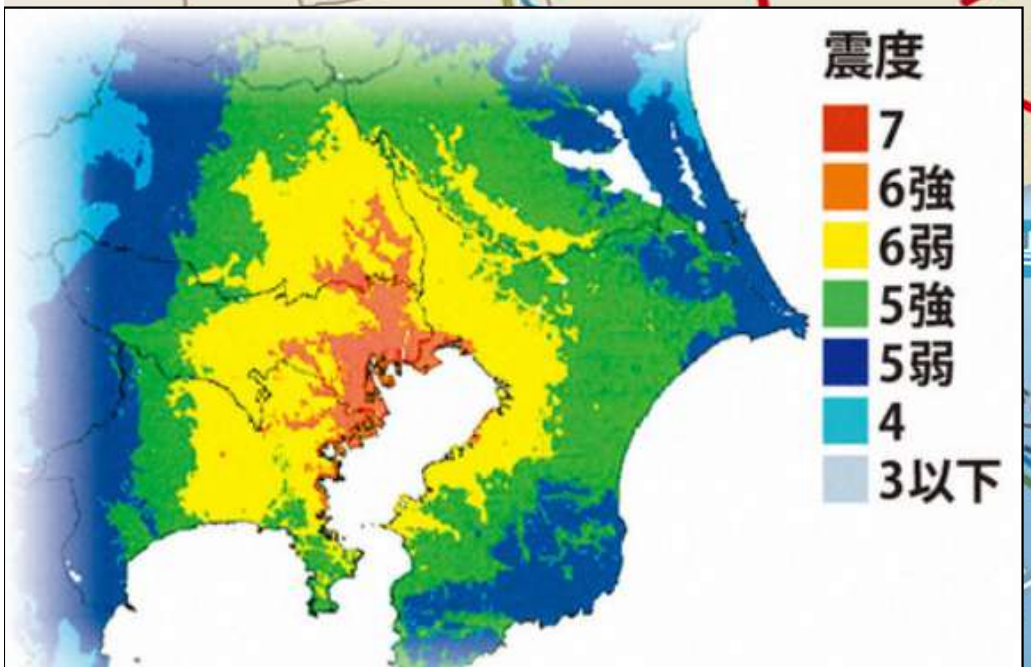
東京湾直下 M7.3

羽田空港直下 M7.3

型関東地震 M8.2

都心南部直下 M7.3（70%）

元禄型関東地震 M8.5
（ほぼ0%）



海

太平洋

N

20km



大阪府北部で最大震度6弱の揺れで、小学校のブロック塀が倒れ、小学4年の女児が下敷きとなり死亡。

防災士が体験した「震度6弱」のリアル

震度5強との決定的な違い

震度5強
対処可能

震度6弱
生命の危険

体感：立っていることは不可能

「あり得ない恐怖」で身動きが取れず、何かにつかまらないと行動できないほどの激しい揺れ。

屋内の脅威：家具の転倒と閉じ込め

固定していない家具の大半が移動・転倒し、ドアが歪んで開かなくなり脱出が困難になるリスクがある。

命を守る日常的な備え

①家具の固定
②水・食料・電源の確保
③避難経路の確

気象庁震度階級関連解説表 震度6弱

人の体感・行動	立っていることが困難になる。
屋内の状況	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
屋外の状況	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
地盤・斜面等の状況	地割れが生じることがある。がけ崩れや地すべりが発生することがある。

※震度が同じであっても、地盤の状況などにより被害は異なります。
※この資料では、ある震度が観測された際に発生する被害の中で、比較的多く見られるものを記述しており、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
出典：気象庁震度階級関連解説表







地震

宮崎県日南市 最大震度6弱の被害の様子

今日のテーマは自助です

在宅避難の勧め

何故、在宅避難なの？

避難所が開設され、一（ひと）落ち着きしても、高齢者には厳しい状況。
在宅避難の対極の実例写真です。



≪明日は我が身≫の教材とさせて頂きます。

『東日本大震災』の記事より抜粋をさせていただきました。

2011.4.7記事

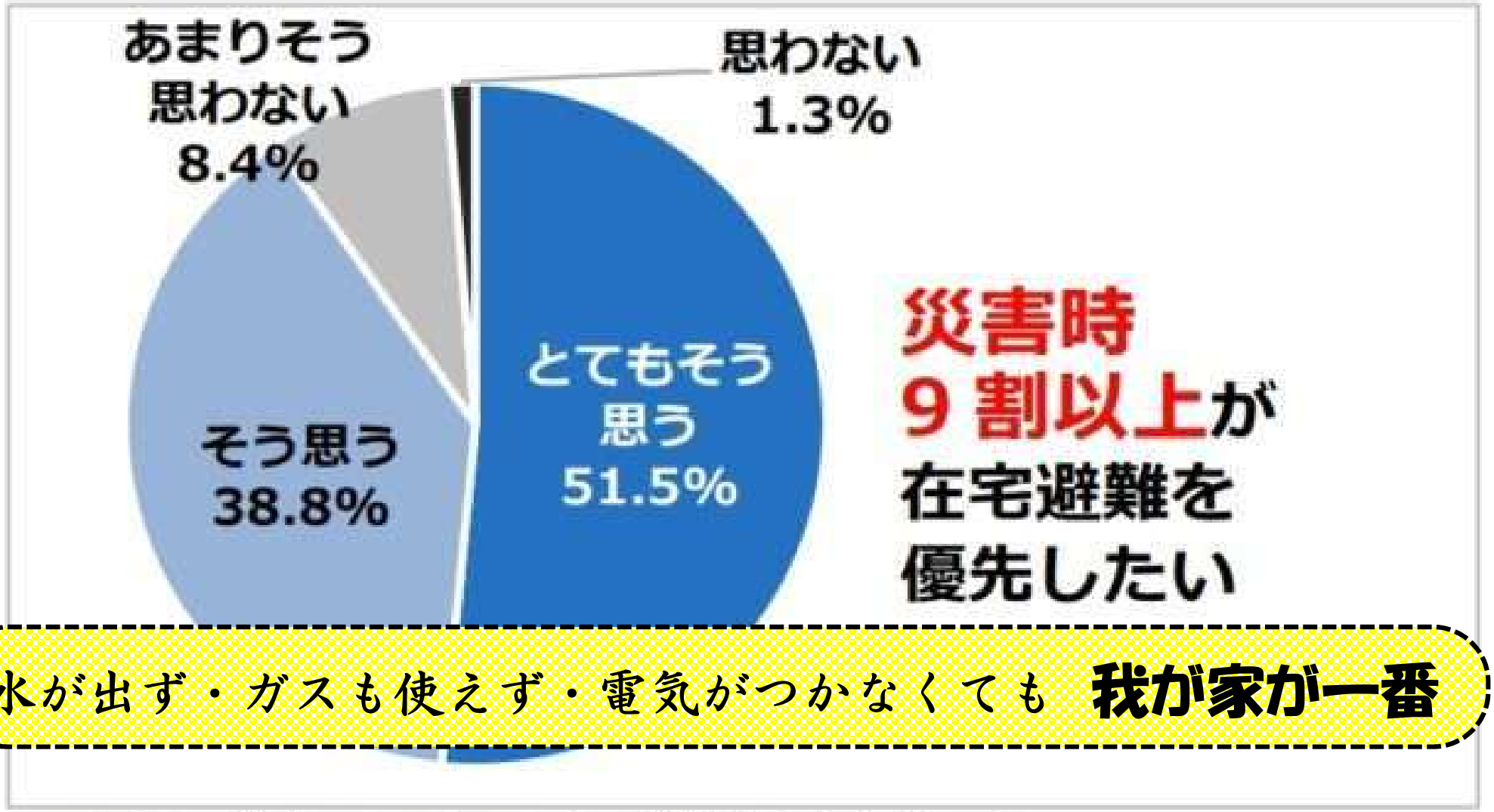
msn 産経ニュース

≪明日は我が身≫の教材とさせて頂きます。



避難所生活の厳しき一端を理解して頂く為の写真です

避難所or在宅避難 どちらを選択？



水が出ず・ガスも使えず・電気がつかなくても **我が家が一番**

<図3：災害でライフラインが停止した場合でも、
できる限り在宅避難を優先したいと思うか> n=1228

在宅避難のすすめ



地震が起きたらまず避難所！と思っていませんか？

在宅避難とは、大規模な災害が起きたとき、備蓄物資を活用しながら、避難所ではなく自宅で避難生活を送ることを言います。災害が起こった時、避難所で生活をすることは選択肢のひとつに過ぎません。自宅とその周辺の安全が確認できれば、在宅避難を考えてみましょう！

※余震等の危険もあるため、在宅避難をしていて少しでも自宅に危険を感じた場合は、速わず避難生活施設など安全な場所に避難してください。

在宅避難のメリットは？



自宅でキャンプするイメージ！

- ○避難所の混雑を避け、感染症対策になる！
- ○住み慣れた環境でストレスが軽減し、プライバシーが確保される！
- ○乳幼児やペットのいるご家庭も、安心して過ごせる！



☞日ごろから、在宅避難ができる準備を！

・住まいの耐震化、家具の固定・ガラス飛散防止などの室内の安全確保を行い、地震で受ける直接の被害を軽減しましょう。
・最低3日、できれば1週間分を目安に、飲料水・食料品・携帯トイレ、その他必要なモノを備えましょう。ローリングストックもおすすめです。





☞在宅避難でも、避難生活施設での支援は受けられます！

・大和市の各避難生活施設では、支援物資が届き始めるなど支援ができる状態になった場合には、在宅避難の方にも、可能な範囲で支援を行うこととしています。
・災害時に物資が不足してきたり、情報収集のためなど、ためらわずに各避難生活施設へご相談ください。

マンションに住むひとは？



ポイント①：水や食料は、目安より多めに備えると安心！

⇒エレベーターが停止した場合、上層階へ重たいものを運ぶのは大変です。

ポイント②：トイレの備えを！

⇒上層階での排水が下層階で溢れる可能性があります。排水管の安全が確認できるまでは、携帯トイレなどを活用しましょう。

“公助”に頼りすぎない。自宅を一番の避難所にしよう！

大和市　危機管理課

大和市市長室
危機管理課発行

ここからは在宅避難の具体的な【備え】をご案内します

自分の命・家族・くらしを守る！

自助

◎お家は大丈夫？
大和市は地震の震度6弱程度を想定
⇒ まずは大和市の簡易耐震診断(無料)を。

大和市地域防災計画

◎家具の転倒防止策は？
⇒L金具取付け、家具のガラス部分にフィルム貼り等。

◎飲料水・食料・災害用トイレ袋の備蓄は？
⇒長期間のライフラインダウンを想定し、長期保存水・非常用食料・夜間LEDライト(予備乾電池)・簡易トイレ袋を約一週間分の備蓄

◎屋内の避難場所／屋外への脱出経路は？

◎家族間連絡方法や避難場所の決め事は？

ご近所同士の安否確認と火元チェックの声掛け

≪明日は我が身≫の教材とさせて頂きます。



耐震基準	震度5程度の中地震	震度6強程度の大地震
旧耐震基準 (1981年5月31日以前) 旧耐震基準	 倒壊・崩壊しない	規定がなかった
新耐震基準 (1981年6月1日以降) 新耐震基準	 軽微なひび割れ程度にとどまる	 倒壊・崩壊しない

長野県北部で震度6弱を記録した地震から一夜明けた23日、県災害対策本部などは被害の全容把握を急いだ。

震度6弱の震災直後の様子

https://liniere.jp/column/lifestyle/6321/page3/ より抜粋





在宅避難が困難？

奥さんが入院したり、親戚も被災するなどして片付けができなかったこともあり、片付けるまでに1か月半ほどかかったそう。
心理面での負担も大。

キッチンでは日用品の多くが凶器になります。下は収納していたものの多くが、落下してしまったキッチン。

≪明日は我が身≫の教材とさせて頂きます。

自助【備え】何とか自宅での生活継続の為には

(大規模地震による、思わぬ怪我や継続居住≪在宅避難≫への備え：サポート実例写真)

家具転倒防止	ガラス飛散防止	液晶TV転倒防止	非常時手元照明	その他の設定
				
				

★ライフライン(電気、ガス、水道、通信)のダウンでも、**≪在宅避難≫**が出来る様に各種の備蓄を。
(飲料水／食料／災害トイレ袋／LEDライト／消毒用ティッシュ／古新聞等 約1週間分の備蓄)

まずは民生委員さん・自治会長さんにご相談下さい！

在宅避難に最低限 必要な備蓄品（一週間分）

★何処のご家庭にも、大略 米／麺類／その他 何らかの食物はあるものとして除外しました。















ローリングストック的な扱いを意識してね！

災害時トイレ用ビニル袋設定と後処理手順



★携帯トイレのメーカーにより、凝固剤は前入れ／後入れを要確認。
★行政(大和市)は災害時トイレ用ビニル袋を燃えるゴミとして回収。

次は災害時トイレ用ビニル袋設定の模擬訓練です